

総合2023 自分軸を考える～なに、なぜ、どうする～

第11回 9月14日（木）13:00～14:30
「生きづらさ」の中から見つけた
私の自分軸



奥村安莉沙氏

注文に時間がかかるカフェ発起人

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1992年生まれ、東京都在住。幼いころから吃音（きつおん・どもり）があり、人との違いに悩んだ経験を持つ。「吃音当事者が生きやすい社会を作る」をテーマに啓発活動を行っている。吃音のある若者たちが接客の夢に挑戦できる1日限定のカフェ「注文に時間がかかるカフェ」を全国各地で開催中。広告代理店でマーケティング、NPO法人で広報室長、アメリカ・カリフォルニアの映画製作会社で宣伝等を経験。

取材：NHK、テレビ朝日、日本テレビ、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞

<担当スタッフより>

多様性や個性を大切だとしながら、人々は普通であることを追求しがちで、普通が当てはまらない人は普通であることを求められたり、普通ではないことがあると自分自身を否定されたりすることがあるのではないのでしょうか？

奥村さんは幼少期の頃から吃音である自分に悩み、落ち込む日々を過ごされてきました。その後オーストラリアに留学したことがきっかけで吃音を持つ自分を受け入れ、乗り越えてこられました。そんな奥村さんは相手にとっての「普通」を知ることが大切だとおっしゃっています。受講生の皆さんには、周りの人々や環境によって何が「普通」なのかは意識されがちだけれども、その「普通」を超えるような別の視点や広い視野で物事を見ることが大切だ、という新たな気づきと、自分軸とはどのようなものなのか、普通とは何かを考えてもらいたいです。